

30

1589D-1

電信寫

總番號 一四三九七

符號 倫敦

昭和十五年三月二十五日後發
昭和十五年三月二十六日後發

有田 外務大臣

重光 大使

第八六八號（館長符號）

一 英佛軍必死ノ勢力行ハレ居ルモ自德國境陸上戰ノ
 大勢ハ既ニ決シタルカ如ク英佛兩國ノ非常ナル決
 意ノ下ニ戰爭カ尙續行セラルヘキモ如何ナル國際
 情勢ノ變化ニ對シテモ對處シ置クノ必要アルハ申
 ス迄モナシ帝國トシテハ今次戰爭ノ結果好ムト好
 マサルトニ拘ラス世界三分ノ一タル東亞ノ安定ニ
 對シ責任ヲ負フコトナリタル次第ニシテ其ノ地
 位ヲ少シニテモ國メ置クコトカ將來帝國カ國際場
 裡ニ於テ坐キル途ト思考セラル右ハ交戰國ノ勝敗
 ノ如何ニ拘ラス戰後ノ世界ノ情勢ニ對處スル基礎
 ヲ爲スモノト思考セラル右ノ見地ヨリ

ニ既ニ申進シタル通り支那ニ於テ大局ヲ抑ヘ居ル以
 上述ニ支那問題ニ於テ各方面ニ對シ妥協ノ措置ヲ

1589D-2

決ルコト必キナルヘク日支關係ヲ大ナル紛争ニ置
クコトハ歐米ノ將ニ乘スル所ニシテ戦後ノ我國際
的地位ヲ減少ナラシメ且將來ノ外交ヲ至難ニ陷ラ
シムヘン

三 此ノ際東亞ニ戦火ノ及フコトヲ防ク爲更メテ

(一) 各國ニ對シテ正式ニ右我意圖ヲ傳フルト共ニ戰
争當初表示セラレタル在支交戦國軍隊撤退ニ關
スル我希望ヲ實現スル様措置スルコト

(二) 米洲諸國ノ宣言セルト同様東亞ニ於テモ三百哩
主義(三百哩以内ニテ戰争行爲ヲ爲スヲ監視シ
得ス範圍ハ日滿支沿岸トシ帝國ノ領海ヲ除クコ
トトス)ヲ宣言スルコトヲ再考セラルルコト(一
往電第九五號)(當地伯刺利爾爾大使ノ説明ニ
依レハ三百哩主義ハ戦後ノ國際法トシテ南北米
ニ於テ主張セル趣ナリ)
之等ノ措置ハ之ヲ軍事又ハ輿論ノ壓迫ノ下ニ爲
スコトナク外交的ニ爲スコト効果多キコト勿論
ナリ以上ハ戰争終末ノ場合ノ我外交ノ地圖メヲ
爲スノ見地ヨリ申進ス

米、伊、佛へ轉電セリ

伊ヨリ獨へ轉電アリタシ

1589D-3

證 明 書

ワシントン—文書局 第 一 三 八 九 D 號
國 際 檢 察 部

真 實 及 び 公 正 ニ 關 ス ル 證 明

余、尾戸長春ハ余ガ下記ノ資格ニ於テ、即チ外務省
文書課長代理トシテ、日本政府ト公的關係ニ在ルモ
ノナルコト、茲ニ該官吏トシテ余ガ茲ニ添附セラレ
タル、三頁ヨリ成ル、千九百四十年ノ昭和十五年ノ
五月二十五日附、下記題名、即チ在英重光大使兼有
田大臣宛電報第一四五九七號ノ文書ノ保管ニ任ジ居
ルコトヲ茲ニ證明ス。

余ハ更ニ添附ノ記録及ビ文書ガ日本政府ノ公文書ナ
ルコト、茲ニ右ガ下記名稱ノ管又ハ部局ノ公式書類
及ビ綴ノ一部ナルコトヲ證明ス。(若シアラバ綴者
號又ハ引用、其ノ他公式書類又ハ綴ニ於ケル該文書
ノ成現所在ノ公式名稱ヲモ特記スベシ)

1589 D-4

千九百四十六年ノ昭和二十一年ノ十月三日

東京ニ於テ署名

官設官吏署名欄 尾 戸 長 春 印

右ノ者ノ公的資格 外務省文書課長代理

證 人 佐 藤 武三郎 印

公式入手ニ關スル證明

余、Richard H. Harsh ハ、余ガ聯合國最高指揮官
總司令部ニ關係アルモノナルコト、並ニ上記題名ノ
文書ハ余ガ公務上、日本政府ノ上記署名官吏ヨリ入
手シタルモノナルコトヲ茲ニ證明ス。

千九百四十六年ノ昭和二十一年ノ十月八日

東京ニ於テ署名

氏 名 欄 Richard H. Harsh

右ノ者ノ公的資格 Investigator I.P.S.

證 人 Sgt Takeo Fuguchi